

寄贈図書リスト

孔子の見た星空

福島久雄, A5, 260p, 2,472 円, 大修館書店,  
読み物

Edwin Hubble

Gale E. Christianson, A5, 420p, £19.50, Institute  
of Physics Publishing Bristol and Philadelphia, 読み物

月報だより

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果(前所属)
3. 着任時期

国立天文台理論天文学研究系助手

1. 第 89 巻 5 号
2. 和田桂一(北海道大学情報処理センター)
3. 1997 年 5 月 16 日

宇宙科学研究所次世代探査機センター助教授

1. 第 89 巻 8 号
2. 中川貴雄
3. 1997 年 2 月 1 日着任

立教大学理学部物理学教室専任教員

1. 第 89 巻 9 号
2. 平原聖文(東京大学大学院理学研究科地球惑星物理学専攻)
3. 1997 年 5 月 1 日着任

研究会・集会案内

第 19 回宇宙ステーション利用計画  
ワークショップ

—宇宙ステーション(JEM)利用の幕開け—

開催日時:平成9年7月1日(火)10:00~17:00  
2日(水)10:00~17:00

開催場所:砂防会館 シェーンバッハ・砂防  
(住所:東京都千代田区平河町 2-7-5)

会合内容:7月1日(火)全体会

宇宙ステーション日本取付型モジュール(JEM)の利用などに関する講演及び討議. 宇宙ステーションの利用計画概要. NASA(米), ESA(欧), CSA(加), ロシアの宇宙環境利用に関する現状, 方向性, 日本モジュール(JEM), 曝露部の利用選定評価の結果などの紹介.

7月2日(水)分科会

微小重力科学, ライフサイエンス, 理工学・通信, 観測(天体, 地球)宇宙医学各分野に分かれた JEM 利用方針に関する意見交換など.

主催者名:科学技術庁, 宇宙開発事業団, (財)宇宙環境利用推進センター, (財)日本宇宙フォーラム

参加費:無料

詳細問い合わせ先:

(財)宇宙環境利用推進センター 調査研究部

担当:中野邦男

〒169 東京都新宿区早稲田 3-30-16

TEL03-5273-2442

FAX03-5273-0705

国立天文台水沢観測センター施設公開のお知らせ

期 日:平成9年6月14日(土)午前10時~午後4時

場 所:岩手県水沢市星ガ丘町 2-12

国立天文台水沢観測センター

電話 0197-22-7111

公開施設:10 m アンテナ, 重力絶対観測室, コンピュータ室, 木村記念館等

講演会:「探査機で月を探る—大型月探査機 2003 年打ち上げに向け研究開始—」

河野宣之(国立天文台地球回転研究系教授)



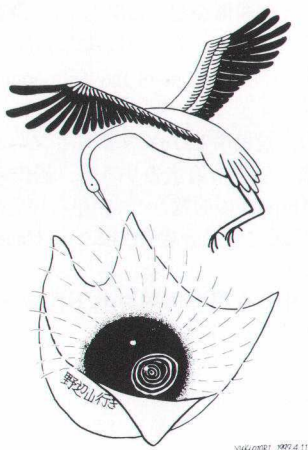
**訂 正**

1996年12月発行(1996年10月15日現在)の名簿のうち37頁の住所の一部に下記の誤りがありましたので、お詫びして訂正致します。

	(誤)	(正)
7, 10, 17, 22 行目	京都	東京都
8 〃	庫県	兵庫県
12 〃	阪府	大阪府
14 〃	城県	茨城県
16 〃	府	京都府
20 〃	葉県	千葉県

天文月報第90巻5号の「三宅賞」の一部に誤りがありました。お詫びして訂正致します。

誤	研究助成第1回締切	1996年8月31日
正	〃	〃
		1997年8月31日



「Tタウリ型星の誕生」

大森幸子(東京都)

**編集後記**

「アッ！」という間に2年が過ぎ、4月の天文学会役員の交代に伴う天文月報編集委員の新規入れ替えのため、編集委員会から離れることになりました。14年間の国外追放から帰国して、何だか訳が解らないうちに編集委員長に祭り上げられ、それからわずか2年で今度は国立天文台ハワイ観測所への赴任という鳥流しとなったため、後事を新編集委員長の末松さんと編集委員の皆さんに任せることになった訳です。

編集委員に就任当初は、「こんな風をしたい、あんな風にもしたい」と、いろいろ考えては見たものの、現実の厳しさ、とにかく毎月原稿を揃えて、滞りなく出版にこぎ着けることに汲々として終わった2年間でした。この間、編集作業の見直し、DTP化による工程の簡素化と省力化、月報ホームページの開設などに着手。今やっと軌道に乗りつつあるところですが、僕自身はほとんど何の役にも立たず、他の編集委員のみなさんの努力とサポートで何とか凌いで来たのが正直なところ。編集委員の皆さん、「この2年間、ほんとうにご苦労さまでした」ここで改めて感謝の意を表明します。

そして、天文月報に原稿をお寄せいただいた執筆者の皆様にも深く御礼いたします。執筆者の皆さんの協力がどんなに重要でありたいものか、身に染みて解りました。また、人の顔を見ると、原稿依頼をしてしまう癖がついてしまいましたが、快く引き受けて下さった方々に、また一層のご活躍を楽しみにしております。今後は、天文月報からの執筆依頼があったら誠心に協力する心積もりです(これは自分で墓穴を掘っているのか?)。会員の皆様も天文月報の主旨をご理解の上、よろしくご協力をお願いします。

最後に新編集委員の皆様、前編集委員会より残された課題等の後始末、大変とは思いますが、皆さんの努力が天文学会員の声としての天文月報を支えていることを思い、一層のご奉仕をお願いします。天文月報が益々発展し、より良い記事で埋まることを期待しています。

これぞと思う研究成果が出ましたら、ぜひ月報誌上で宣伝を!

関口和寛(国立天文台ハワイ観測所)

編集委員	関口和寛(編集長)	末松芳法	田代 信	辻本拓司	中川貴雄	林 左絵子	平野尚美	宮坂正大
平成9年5月20日	発行人	〒181	東京都三鷹市大沢2-21-1	国立天文台内	社団法人	日本天文学会		
印刷発行	印刷所	〒162	東京都新宿区早稲田鶴巻町565-12		啓文堂	松本印刷		
定価700円(本体667円)	発行所	〒181	東京都三鷹市大沢2-21-1	国立天文台内	社団法人	日本天文学会		
電話(0422)31-1359(事務室)	5488	(月報・欧文編集)	5487	(FAX専用)	振替口座	00160-1-13595		
日本天文学会のホームページ	<a href="http://www.tenmon.or.jp">http://www.tenmon.or.jp</a>							